

一般土木建築工事業

株式会社河北

④ 業種特化型

【申請類型】

IT導入補助金2020 通常枠（C類型-2）

【事業者情報】

住所：宮崎県都農町 設立：1965年
従業員数：54名 売上高：約1,034百万円

URL <https://kawakitanet.co.jp>

・地域未来牽引企業に2018年12月選定



←クラウド型のシステム導入により、本社にしながら、現場の状況がリアルタイムで把握できる。

抱えていた経営課題



- 作業ごとに会計システムとExcelシートが混在していたため、作業の二度手間が生じるとともに、誤作業の原因となっていた。
- 同僚や上長と取引単価等の情報が共有化できておらず、取引単価の平準化や利益率の向上が課題となっていた。
- 自社に最適な原価作成システムを判断できずにいた。

導入後の変化、効率化された業務

- 見積りや実行予算、協力業者の発注管理や出来高査定等に関するシステムが一元化でき、作業の二度手間が解消された。
- クラウド型システムのため、他の現場の情報がリアルタイムに把握でき、テレワークも可能となった。
- 新しいシステム導入にためらう従業員もいたが、IT導入支援事業者のサポートもあり、IT化に対する従業員の意識が徐々に向上している。

導入したITツール

工事原価作成システム「Neo 原価」

http://www.advan-jpn.co.jp/lp/neo_genka/

見積データから連動して、実行予算・発注稟議書の作成が出来、支払入力・入金処理まで可能。

IT導入支援事業者 株式会社建築資料研究社

成果

利益率が0.17%増加！
年間120万円のコスト削減実現
テレワークが実現

見積から完成
まで一連管理



- 情報の共有化により、協力業者との取引単価が平準化された。
- また、業務の効率化により、正確でスピーディーな事務処理作業が行えるようになり、利益率が増大した。